

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

平成29年4月6日

市川市長

団体名 ケアカフェいちかわ  
(団体番号 2 )  
代表者名 梶 貴雄  
所在地 市川市南八幡3-13-3

平成28年8月12日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	45,695円
(2) 補助対象経費総額	43,271円
(3) 補助金交付決定額	27,290円
(4) 補助金交付概算払額	27,290円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	在宅医療介護啓蒙の為の市民まつり出展事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 「現在介護をしている人や受けている人への情報提供」…市民まつりへの来場者も多く、当団体テントへお越しいただける方も多かったです。テント内で行った、体力測定や体験施術を通じて情報提供を行えた。 添付画像にもあるように親子連れの参加も多く、約200名の方が本事業を訪れた。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	月2回、当団体が主催するワークショップなどでのチラシ配布(一緒に参加していただける方と、来場者向け)。 Facebookやtwitter、LINEなどのSNSで出展の情報を告知。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 「地域の支え合いの意識の向上」…テント内で3回行ったミニケアカフェ(おしゃべりのワークショップ)を通じて、ご近所付き合いや声掛け、共助の必要性を感じる参加者が多く、地域の支え合いの意識は向上したのではないかと思う。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 まだまだ市民の方の在宅介護や在宅医療の情報がいきわたっていないことを実感した。また家族や親、配偶者などが将来介護が必要になった時の知識や情報も足りないのでは、実際にそうなる時に慌ててしまうのではないかと感じた。今後も当団体が毎月行っている「ケアカフェいちかわ」などを通じ、市民の方にもっと情報発信をしていきたいと考えております。また団塊ジュニア世代なども多く利用しているSNS(FacebookやTwitter、LINE)も今後活用し、情報発信していきたい。

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 在宅医療介護啓蒙の為の市民まつり出展事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	27,290	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	24,060	団体の本会計より充当
返金	-5,655	
合計	45,695	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	0	0	
交通費	3,000	3,000	駐車場2台(1,500円×2台)
消耗品費	19,475	17,051	鍼(2,160円)、灸(5,832円)、消毒液(2,376円) A4用紙(3,029円÷5冊=605円) スタッフ腕章15個(6,078円)
印刷製本費	3,320	3,320	プリントパック(1,900円+1,420円)
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	19,900	19,900	テント2張(16,000円) テーブルレンタル(600円×4台) イス20脚(100円×15脚)
原材料費	0	0	
合計	45695	43271	

※ 領収書（原本）を添付してください。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 参加者集合写真

撮影年月日: 平成28年11月3日



タイトル : 出展テントの様子

撮影年月日: 平成28年11月3日

